

日本学術振興会ワシントン研究連絡センター

NSF、生物科学局長補佐にジョージ・メイソン大学の  
ジェームズ・オールズ氏を選出（9月3日）

米国科学財団（National Science Foundation : NSF）は、生物科学局（Directorate for Biological Sciences : BIO）局長補佐に、ジョージ・メイソン大学（George Mason University、バージニア州）のジェームズ・オールズ氏（James L. Olds）を選出した。

オールズ氏は、同大学傘下機関であるクラスノウ高度調査研究所（Krasnow Institute for Advanced Study）の所長兼最高学務責任者を15年間務めている他、同大学の分子神経科学教授でもある。また、クラスノウ高度調査研究所における勤務の前には、米国解剖学会（American Association of Anatomists : AAA）の最高運営責任者を務めた経歴を持つ。なお、オールズ氏のNSFでの任務は10月に開始する。

National Science Foundation, National Science Foundation selects George Mason University Professor James L. Olds to head Biological Sciences Directorate  
[http://www.nsf.gov/news/news\\_summ.jsp?cntn\\_id=132477&WT.mc\\_id=USNSF\\_51&WT.mc\\_ev=click](http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=132477&WT.mc_id=USNSF_51&WT.mc_ev=click)